

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ながさきなんぶ） 長崎南部森林計画区 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、長崎南部森林計画区の長崎市、島原市、諫早市、大村市、西海市、雲仙市、西彼杵郡に位置する11,901haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林63%、天然林37%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹では、カン類となっている。</p> <p>当計画区は、長崎県南西部に位置し、長崎半島、西彼杵半島、県中央部及び南東部の島原地区に分布する国有林の多くは、雲仙天草国立公園、多良岳国立自然公園をはじめとする自然公園等に指定され、登山などの森林レクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>また、国有林の約9割が水源かん養保安林や土砂流出防備保安林等に指定されており、下流域の水源の確保や山地災害の防止を図る観点から重要な役割を果たしている。特に、雲仙・普賢岳周辺の森林は、噴火により消失、枯損等の著しい被害を受けており、被災森林の早期復旧や、堆積した土砂の流出防止等を図ることが重要となっている。</p> <p>このようなことから、当計画区においては、水源のかん養、国土保全をはじめ、自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供などの森林の有する多面的機能を高度に発揮させることが求められている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																						
	<table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>56 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,873 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>8.5 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,146,526 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	56 ha			保育面積	2,873 ha		路網整備	開設延長	5.2 km			改良延長	8.5 km	総事業費			1,146,526 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	56 ha																				
		保育面積	2,873 ha																				
	路網整備	開設延長	5.2 km																				
		改良延長	8.5 km																				
総事業費			1,146,526 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	7,842,517 千円																					
	総 費 用（C）	1,189,117 千円																					
	分析結果（B / C）	6.60																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

整理番号14

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：九州森林管理局

事業実施地区名：長崎南部森林計画区

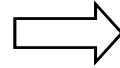
長崎森林管理署

(都道府県名：長崎県)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,954,191	
	流域貯水便益	567,450	
	水質浄化便益	968,750	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,371,565	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	425,757	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	86,325	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,405,565	
	木材利用増進便益	51	
	木材生産・確保増進便益	863,730	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	106,038	
	治山経費縮減便益	481	
	森林管理等経費縮減便益	4,067	
	森林整備促進便益	88,547	
総便益(B)		7,842,517	
総費用(C)		1,189,117	
費用便益比(B/C)		6.60	

森林環境保全整備事業 長崎南部森林計画区(長崎県) 概要図



対象計画区拡大図

